

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス GRIPキッズ 吉川校		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間のつながりが強く、相互協力して問題解決に取り組めるところ。 ・学習、イベント、生活習慣など療育においてスタッフが意欲的かつ率先して提案をしてくれるところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各利用者様の近況を全スタッフで持ち寄り、支援計画や方針を決定しています。また、集団プログラムやイベントを組むときに、個人個人の療育を踏まえたくうえで企画立案するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフ参加のミーティングの実施頻度をあげ、スタッフ間の意見交換や直接的な情報共有の場を増やしていく。 ・教室外の活動を増やし、社会性やルール・マナーを意識した療育を行う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員参加の定期的なミーティングは頻度が少ないため、情報共有に工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員の出勤日を合わせることが困難なため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に全員参加を前提とし、不参加のスタッフにはチームリーダーが直接伝達をする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・療育スペースがぎりがりの為運動療育の実施が難しいこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積に起因する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の児童施設や公共施設を利用し、活動の場を広げる。 ・前年度に比べ児童館や図書館などの利用頻度は上がっているが、利用先が決まってしまうため、新規利用先を開拓する。
3			